



INNOVATOR'S
GARAGE

Aichi-Nagoya

Aichi-Nagoya
Startup Ecosystem Consortium

**Central Japan
Startup Ecosystem
Consortium**

Hamamatsu

浜松市スタートアップ
戦略推進協議会



スタートアップ・エコシステム 拠点都市の取り組みと成果

Central Japan
Startup Ecosystem Consortium

名古屋市
経済局 イノベーション推進部
スタートアップ支援室

Central Japan Startup Ecosystem Consortium エコシステム形成推進主体

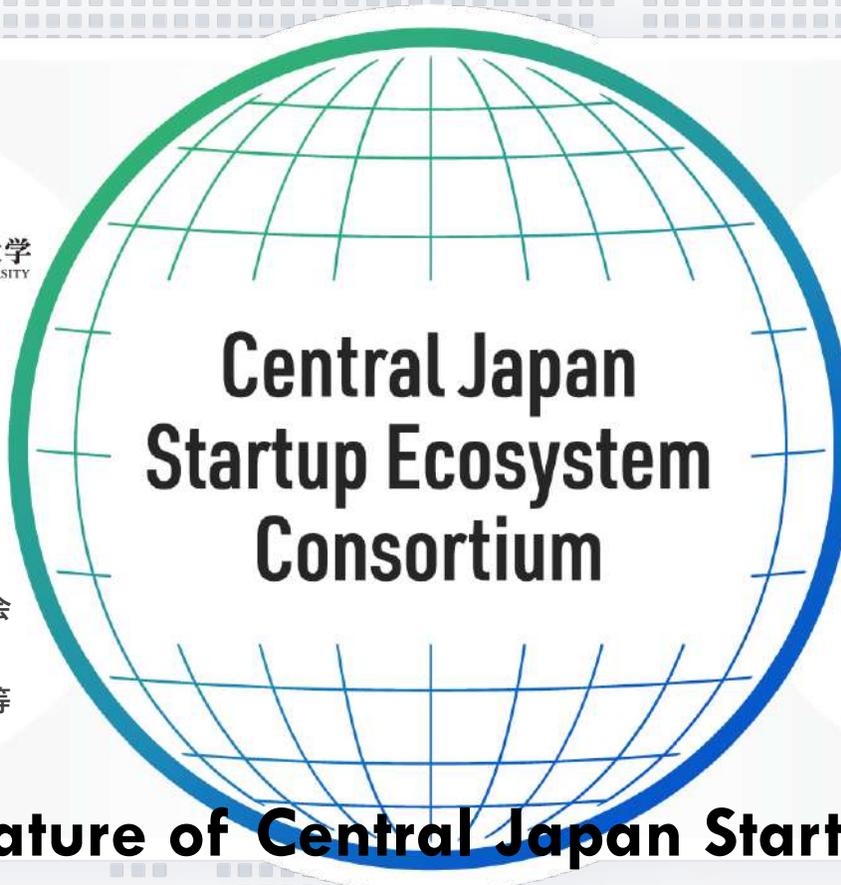


Aichi-Nagoya

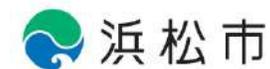
Aichi-Nagoya
Startup Ecosystem Consortium

代表者：一般社団法人中部経済連合会
会長 水野明久

構成組織：157企業・団体・大学等



**Central Japan
Startup Ecosystem
Consortium**



Hamamatsu

浜松市スタートアップ
戦略推進協議会

代表者：浜松市長 鈴木康友

構成組織：15企業・団体・大学等

The feature of Central Japan Startups is

DEEP TECH



スタートアップ・エコシステム 「グローバル拠点都市」選定記念イベント

- ・ 日 時 令和2年9月4日
- ・ 場 所 ナゴヤイノベーションズガレージ・オンライン
- ・ 参加者 294名
- ・ オープニングセレモニー
中部経済連合会水野会長、名古屋市河村市長、
愛知県大村知事、名古屋大学佐宗副総長
- ・ 討 論 会
「ニューノーマルを生き抜く
～予防衛生・地域活性化・あらたな行動～」
モデレーター
島田 佳幸氏（中日新聞社・論説主幹）
登壇者
平田 仁氏（名古屋大学予防早期創成センター・教授）
佐宗 章弘氏（名古屋大学・副総長）
杉浦 克典氏（株式会社スギ薬局・代表取締役社長）
加藤 百合子氏（株式会社エムスクエア・ラボ・代表取締役）
岩木 勇一郎氏（株式会社スピード・代表取締役）

J-Startup CENTRAL

Representative startups in Central Japan



J-Startup
CENTRAL

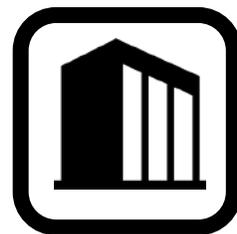


(令和 3 年 1 月)

Support for J-Startup CENTRAL

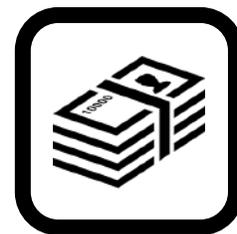
J-Startup CENTRAL企業へのサポート

- ・ 大企業や投資家等とのマッチング支援
- ・ 内閣府アクセラレーションプログラムへの優先参加
- ・ J-Startup全国版との連携(J-Startupサポーター連携)
- ・ ウェブサイト、雑誌、新聞記事への掲載によるPR支援
- ・ 行政、支援機関による共創支援、実証サポート など



事業会社との
マッチング

7



投資家との
マッチング

34



PR

3

〈2021.1~3実績〉

J-Startup CENTRAL の活躍事例①



秘密計算エンジン

サーバーにインストールするだけで、
データを暗号化したまま利活用できる



- 内閣府アクセラレーションプログラムへ参加
- プレシリーズAラウンドで総額2億円の資金調達を実施（令和3年6月）
- 総務省及びNICT主催「起業家万博」にて2位、「審査員特別賞」を受賞（令和3年3月）

J-Startup CENTRAL の活躍事例②

AgreeBit



○内閣府アクセラレーションプログラムへ参加

○JSSA（一般社団法人日本スタートアップ支援協会）
AWARD アクセラ部門 最優秀賞受賞（令和3年3月）

産学官の連携による都市の環境・繋がり構築
拠点施設・交流の場



NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE（ナゴヤ イノベーターズ ガレージ）は、中部圏のこれからを盛り上げるイノベーションの起源として多くの機能を兼ね備え、同じ志を持った人々が集い、イノベーションを生み、世界を変える発想をもたらす場所です。

（名古屋市・中部経済連合会他）



旧那古野小学校をリノベーションし生まれ変わった「なごのキャンパス」。「ひらく、まぜる、うまれる～次の100年を育てる学校～」をコンセプトに、起業家・ベンチャー企業の育成を目的とした名古屋の新しいインキュベーション施設。

（東和不動産株式会社、名古屋商工会議所、株式会社R-pro、株式会社パソナJOB HOB、Tongaliプロジェクト）
※名古屋市の提案公募事業。入居企業へ名古屋市が補助。

「ステーションA iプロジェクト」

<スタートアップ・エコシステム拠点推進協議会
ベストプラクティス共有WG発表（更新版）>

- スタートアップの創出・誘致・展開を柱とする地域総合戦略「Aichi-Startup戦略」を策定
- スタートアップの全成長ステージに対応した支援の提供とオープンイノベーションを推進する日本最大の中核支援拠点「ステーションA i」を、ソフトバンク(株)が総力を挙げて整備・運営
- 愛知県の持つ海外の先進的なスタートアップ支援機関・大学との連携と、ソフトバンク(株)の世界的なネットワークを融合させ、世界有数のスタートアップ・グローバルコミュニティを形成

「ステーションA i」の整備・運営(2024年10月オープン)

◆ビジョン

『すべての人にスタートアップのワクワクを』

◆施設・事業概要

- ・事業手法 PFI (BTコンセッション方式)
- ・事業者 ソフトバンク(株)が設立するSPC
- ・設置場所 名古屋市昭和区鶴舞
(愛知県勤労会館跡地)
- ・延床面積 23,098㎡ (地上7階) **【日本最大】**
- ・利用者数 1,000社 **【日本最大】**



◆プレ・ステーションA i

WeWorkグローバルゲート名古屋内に、ステーションA i 開業までの間、総合支援を行うプレ・ステーションA i を開設。統括マネージャーを配置し、集中的な支援を実施。



海外の先進スタートアップ・エコシステム

愛知県が連携・連携を目指すスタートアップ支援機関・大学



スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

- 「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」として、愛知県、名古屋市、浜松市、(一社)中部経済連合会、名古屋大学などととも、「グローバル拠点都市」に認定(2020年7月)
- 世界有数のスタートアップ・グローバルコミュニティの形成を推進

国際的なイノベーション創出拠点の形成

あいちスタートアップ・エコシステム

193者によるスタートアップ・エコシステム構築基盤組織を2018年4月に設立
(メンバー数は2021年8月1日現在)



地域総合戦略
「Aichi-Startup戦略」

Important

4 Concept

1

卓越した次世代型教育を受けた
人材の輩出

2

ディープテックを活かした共創・
オープン化による社会実装・
社会課題解決

3

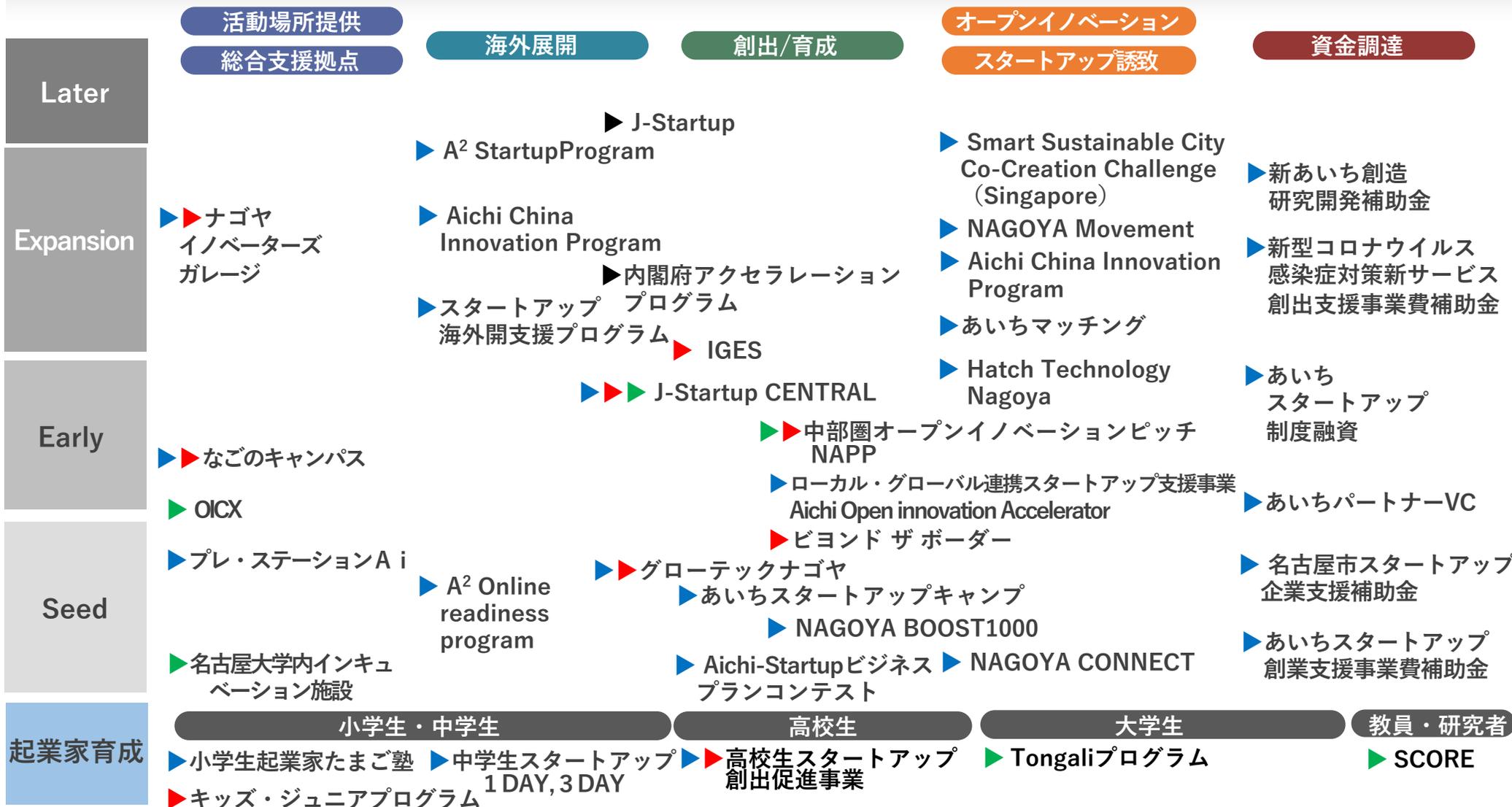
海外ネットワークの拡大・深化と
求心力の強化

4

ベンチャーファイナンスの仕組みを
構築

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

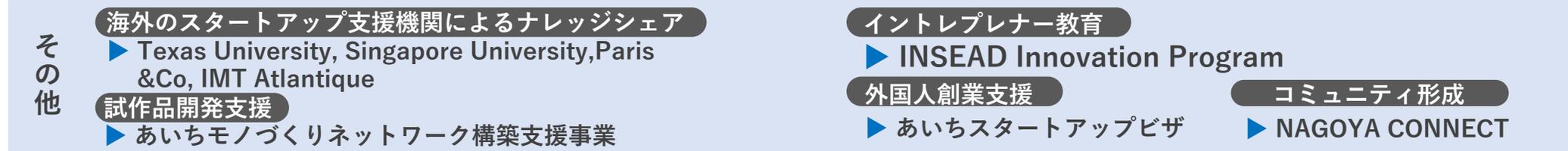
地方自治体・民間組織・大学の主な取組



産学官が連携し、スタートアップの成長段階に応じて支援

全48事業

総予算額
4,382百万円
※融資を除く。



▶ 地方自治体の取組
▶ 民間組織の取組
▶ 大学の取組

拠点都市の取り組みと成果（令和2年度末）

内容	KPI(5年)		実績
① 起業を志す人材・イノベーション人材の輩出	10,000人	➔	1,528人
② 様々なプレイヤー間の共創による新規事業開発件数	1,000件	➔	76件
③ 海外スタートアップ企業と当地域企業とのビジネスマッチング件数	400件	➔	86件

拠点都市の取り組みと成果（令和2年度末）

内容	KPI(5年)		実績
④ 資金調達額	800 億円	➔	86 億円
⑤ スタートアップの起業数	県内 200社 中部圏 300社	➔	県内 45社 中部圏 69社
⑥ 100億円以上の売上規模のスタートアップ創出 企業評価額1,000億円以上企業創出	10社 5程度(10年)	➔	— ※IPO 3社

1,528
人

KPI①

起業を志す人材・イノベーション人材の輩出

1,000